

新しい地方経済・生活環境創生交付金に係る K P I の報告について

1. 概 要

令和 6 年 12 月、国において、従来のデジタル田園都市国家構想交付金を再編した「新しい地方経済・生活環境創生交付金」が設立されました。

地域の多様な主体の参画を通じた、安心して暮らせる地方の生活環境及び付加価値型の新しい地方経済を創出することを目的とした交付金です。

新しい地方経済・生活環境創生交付金

第 2 世代交付金

デジタル実装型

地域防災緊急整備型

地域産業構造転換
インフラ整備推進型

第 2 世代交付金

＝概 要＝

従来のデジタル田園都市国家構想交付金の「地方創生推進タイプ」や「地方創生拠点整備タイプ」等を再編したもの。

自治体の自主性と創意工夫に基づき、地方創生に資する地域の独自の取組を、計画から実施まで国が後押しする制度。

＝内 容＝

【ソフト事業】

観光振興や農林水産業の振興、移住促進などの事業に係る取組を支援

【拠点整備事業】

観光振興や農林水産業の振興、移住促進などの事業に係る施設の整備に係る取組を支援

【インフラ整備事業】

道路や污水处理施設等の整備に係る取組を支援

＝事業内容（例）＝

【ソフト事業】

- ・ 移住者等との交流イベントの実施
- ・ 有識者とのワークショップ等を実施し、観光資源の磨き上げ等

【拠点整備事業】

- ・ 道の駅の整備
- ・ 移住体験住宅等の交流施設の整備
- ・ 文化施設等の複合施設の整備等

デジタル実装型

＝概 要＝

従来のデジタル田園都市国家構想交付金の「デジタル実装タイプ」を発展させたもの。

デジタル技術を活用した地域の課題解決や、魅力向上に向けた地方公共団体の取組を支援する交付金。

＝内 容＝

交付条件等の違いにより、4 つの TYPE に分類される。

デジタル行財政改革特化型【TYPE S】

「デジタル行財政改革」に必要となる新たなデジタル公共財を開発し、先行的に改革する取組を支援

先進的デジタル
公共財活用型
【TYPE V】

新たなデジタル技術やデジタル公共財を複数の地方公共団体が共同で調達・利用し、効率的かつ効果的に地方創生に取り組むものを支援

優良モデル導入支援型【TYPE 1】

優良モデル・サービスを利用した実装の取組を支援

デジタル実装伴走支援事業【TYPE O】

TYPE 1 等に満たない地方公共団体向けの伴走支援

2. 当市における活用

(1) デジタル田園都市国家構想交付金の活用

令和6年度、デジタル田園都市国家構想交付金デジタル実装タイプ TYPE 1 を活用し、事業を実施しました。

事業名	事業内容
書かない窓口事業	市役所本庁舎へ証明書自動交付機（行政キオスク端末）及び、申請書作成支援システムを一部の課の窓口へ導入する。
介護認定調査デジタル化事業	介護認定調査を、タブレット等を活用しデジタル化することで、認定までの時間の短縮等を図る。
保育業務支援システム導入事業	市内市立こども園、市立幼稚園、私立保育園へ保育業務支援システムを導入する。 園児の登退園やおたよりの配信等をデジタル化し、スマートフォン等からでも確認できるようにする。
WEB版ハザードマップ導入事業	パソコンやスマートフォン等からハザードマップを確認できるように、ホームページ上ハザードマップを掲載する。
学校教育DX推進事業	市内小学校高学年及び、市内中学校向けにデジタル教科書を導入し、併せて電子黒板を導入する。

(2) 新しい地方経済・生活環境創生交付金の活用

新しい地方経済・生活環境創生交付金デジタル実装型【TYPE 1】を3月13日現在申請中。国から交付決定を受けた場合は令和7年度に活用予定です。

事業名	事業内容
行かない窓口導入事業	市役所窓口へ行かず、スマートフォンやパソコンから各種申請が可能になるシステムを導入する。
河川監視カメラ映像配信事業	河川越水の被害が多発している箇所へ監視カメラを設置し、映像をリアルタイム配信し、河川氾濫や浸水被害への避難等の判断が自身でも行えるようする。

3. 山武市まち・ひと・しごと創生戦略会議での効果検証

(1) 産官学金労言等の参画について

新たに設立された「新しい地方経済・生活環境創生交付金」では、効果的な事業となるよう、産官学金労言等、地域のステークホルダーの意見を踏まえ、KPIの達成度等の効果検証を行うことが求められています。

(2) 当市における効果検証について

実施から3か年分のKPIを測定することが求められており、例年7月下旬から8月上旬に実施している山武市まち・ひと・しごと創生戦略会議にて、事業の実施に係るKPI等を報告する予定です。

また、現在実施中の5事業（デジタル田園都市国家構想交付金分）については必須ではないものの、今後の参考として報告を予定しております。